

## 現代心理学研究科教育課程編成の方針

### ■博士課程前期課程

#### 心理学専攻／修士(心理学)

本課程では、学位授与の方針に沿って、以下のとおり「必修科目」および「選択科目」を組み合わせ、教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および修士論文審査基準によって評価する。

1. 「基礎心理学研究法」「応用心理学研究法」等の必修科目では、最先端の研究法を身につけ、実際に研究場面で運用できる能力を身につける。
2. 「発達心理学特殊研究」「認知心理学特殊研究」等の選択科目では、最先端の研究と成果についての幅広い心理学の知識を身につける。
3. 修士論文では、習得した技法や知識を自分の研究に活用できる能力を身につける。
4. 研究指導では、現代心理学特殊演習や個々の教員の演習などにおいて研究発表と討論の機会を豊富に設けることで、研究を論理的、多角的、客観的に捉えることができる能力を身につける。上記の授業や指導によって涵養された技能や知識を自分の研究に活用できる能力を、修士論文作成を通じて身につける。

#### 臨床心理学専攻／修士(臨床心理学)

本課程では、学位授与の方針に沿って、以下のとおり「臨床心理士関係科目」「公認心理師関係科目」「査定・面接科目」「実習科目」および「研究法・統計法科目」を組み合わせ、教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および修士論文審査基準によって評価する。

#### 【臨床心理学の高度専門職業人を目指す者】

1. 「臨床心理面接特論」「臨床心理基礎実習」等の必修科目では、臨床心理士養成のための科目、公認心理師養成のための科目として、臨床心理学の優れた見識と能力を持ち、臨床心理士・公認心理師をはじめとする高度専門職業人として、教育・医療・福祉・産業・司法の領域で活躍できる能力を身につける。
2. 「臨床心理実習」「心理実践実習」等の選択科目では、心理学的な支援の専門家としての基本的な態度と技法を身につける。
3. 研究指導では、社会的な意義を持つ研究を行える能力を身につける。

#### 【臨床心理学の研究の推進者を目指す者】

1. 「臨床心理査定演習」「臨床心理学特論」等の必修科目では心理学的な支援の専門家としての基本的な態度と技法についての知識を身につける。
2. 「心理統計法特論」「臨床心理学研究法特論」等の選択科目では、臨床心理学および社会的な意義を持つ研究を行える能力を身につける。

<p>3. 研究指導では、臨床心理学の分野において自立した研究者となるために博士課程後期課程に進学できる能力を身につける。</p>
<p><b>映像身体学専攻／修士（映像身体学）</b></p>
<p>本課程では、学位授与の方針に沿って、以下のとおり「必修科目」および「選択科目」を組み合わせ教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および修士論文審査基準によって評価する。</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必修科目では、「映像身体学原論」、「映像身体学研究法」にて映像身体学の基礎理論とその研究方法を修得し、その専門的知見を深めながら映像身体学の研究課題に対してそれらを適切に使える能力を身につける。</li> <li>2. 選択科目では、多様に設定されている基盤研究系科目や制作・表現系科目、プロデュース系科目によって、専門的知見、映像身体学、ならびに映像と身体に関する諸学の幅広い知識を修得して、映像身体学を幅広く展開し、探究する能力を身につける。</li> <li>3. 必修科目と選択科目を組み合わせることで、映像や舞台における専門家、または企業や行政機関、NGOやNPOなどで高度専門職業人として、あるいは、博士課程後期課程に進学して自立した研究者や制作実践者として、映像身体学を幅広く展開し、探究して活躍できる能力を身につける。</li> <li>4. 研究発表と討議の機会を豊富に設けることで、研究を論理的、多角的、客観的に捉えることができる能力を身につける。</li> </ol>
<p><b>■博士課程後期課程</b></p>
<p><b>心理学専攻／博士（心理学）</b></p>
<p>本課程では、学位授与の方針に沿って、以下のとおり「コースワーク」「リサーチワーク（研究指導）」を組み合わせ教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および博士論文審査基準によって評価する。</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「コースワーク」では、「知覚心理学特殊研究」「認知心理学特殊研究」「社会心理学特殊研究」等の授業科目を履修することによって、企業や行政機関の研究所、シンクタンク、NGOやNPOなどにおいて活躍できる、対象を客観化し、論理的に捉え、実証的に検証できる心理学の分野の高度な専門性を身につける。</li> <li>2. 「リサーチワーク（研究指導）」では、指導教員を定め、そのもとで博士論文を作成し、大学その他の教育・研究機関で教育者・研究者として、独自にテーマを設定し、そのテーマを追求する研究計画を立案し、着実に独立した研究を遂行できる能力、心理学的な視点から事象を捉え、それを心理学的にどのように解明していくかを後進に明示できる等の適確な指導を行える能力を身につける。</li> </ol>
<p><b>臨床心理学専攻／博士（臨床心理学）</b></p>
<p>本課程では、学位授与の方針に沿って、以下のとおり「コースワーク」「リサーチワーク（研究</p>

指導)」を組み合わせる教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および博士論文審査基準によって評価する。

1. 臨床心理学的支援の高度専門職業人をめざす者を対象とする「コースワーク」では、「臨床心理学的研究法」の授業科目を履修し、臨床心理学の幅広い知識を身につけ、臨床心理学の理論および実践への応用についての知識を踏まえ、臨床心理学の分野の高度な専門性を活かして、医療・福祉・司法・教育・産業機関などで、臨床心理学的支援の専門家として活躍できる能力を身につける。また、多様な視点から批判的に自らの研究を検討し、大学その他の研究機関において、社会的な意義を持つ研究が行える能力の基礎を身につける。
2. 臨床心理学の研究者をめざす者を対象とする「コースワーク」では、「臨床心理学的研究法」の授業科目を履修し、臨床心理学の幅広い知識を身につけ、臨床心理学の理論および実践への応用についての知識を踏まえ、心理学的な支援の専門家の基本的な態度と技法を大学その他の教育機関で教育する能力を身につける。また、多様な視点から批判的に自らの研究を検討し、大学その他の研究機関において、社会的な意義を持つ研究を行える能力の基礎を身につける。
3. 「リサーチワーク（研究指導）」では、指導教員を定め、そのもとで博士論文を作成し、高度な臨床心理学的な専門性を備え、社会的に意義を持つ研究を自律的に行う能力を身につける。

#### 映像身体学専攻／博士（映像身体学）

本課程では、学位授与の方針に沿って、以下のとおり「コースワーク」「リサーチワーク（研究指導）」を組み合わせる教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および博士論文審査基準によって評価する。

1. 「コースワーク」では、多様に設定されている基盤研究系科目を履修し、最新の研究動向を踏まえ、専門領域の知見を深めながら高度に研究を展開して、隣接する学問領域と連携する力を身につける。
2. 「リサーチワーク（研究指導）」では、指導教員を定め、その指導のもとで映像身体学の高度な専門性を活かして主体的に博士論文を作成し、その高度な専門性を活かして社会的意義のある研究や活動を自立して遂行する能力を身につける。
3. 「コースワーク」と「リサーチワーク」を組み合わせることで、大学その他の教育・研究機関で自立した教育者・研究者として社会的意義のある研究を遂行する能力を身につける。あるいは、企業や行政機関の研究所、シンクタンク、NGOやNPOなどで、高度な専門職業人として社会的意義のある活動を展開する能力を身につける。